

1月21日(金)現在

本県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等は
国評価レベル 2 (警戒を強化すべきレベル) です

オミクロン株感染拡大への嚴重な警戒

本県の新型コロナウイルスの感染者数は、オミクロン株の強い感染力により、19日には過去最大となる1,050人が確認され、病床利用率も25%に迫る勢いです。感染拡大が急激に悪化したことから、国に対して「まん延防止等重点措置」の適用を要請することを決定しました。

このまま爆発的に感染が進んだ場合、冬期は心筋梗塞や脳卒中などコロナ以外の患者が増加する時期にあたるため、医療提供体制がひっ迫してしまうほか、介護施設など、社会福祉施設への感染拡大が大変危惧されます。

社会経済活動との両立をできる限り図るため、この感染拡大を抑制するには、ここ数週間が正念場です。県民の皆様には、会話時の不織布マスクの着用はもとより、人と接する機会と人数を減らし、多人数での会合は避けて頂くなど、感染拡大への嚴重な警戒をお願いします。

1月20日現在

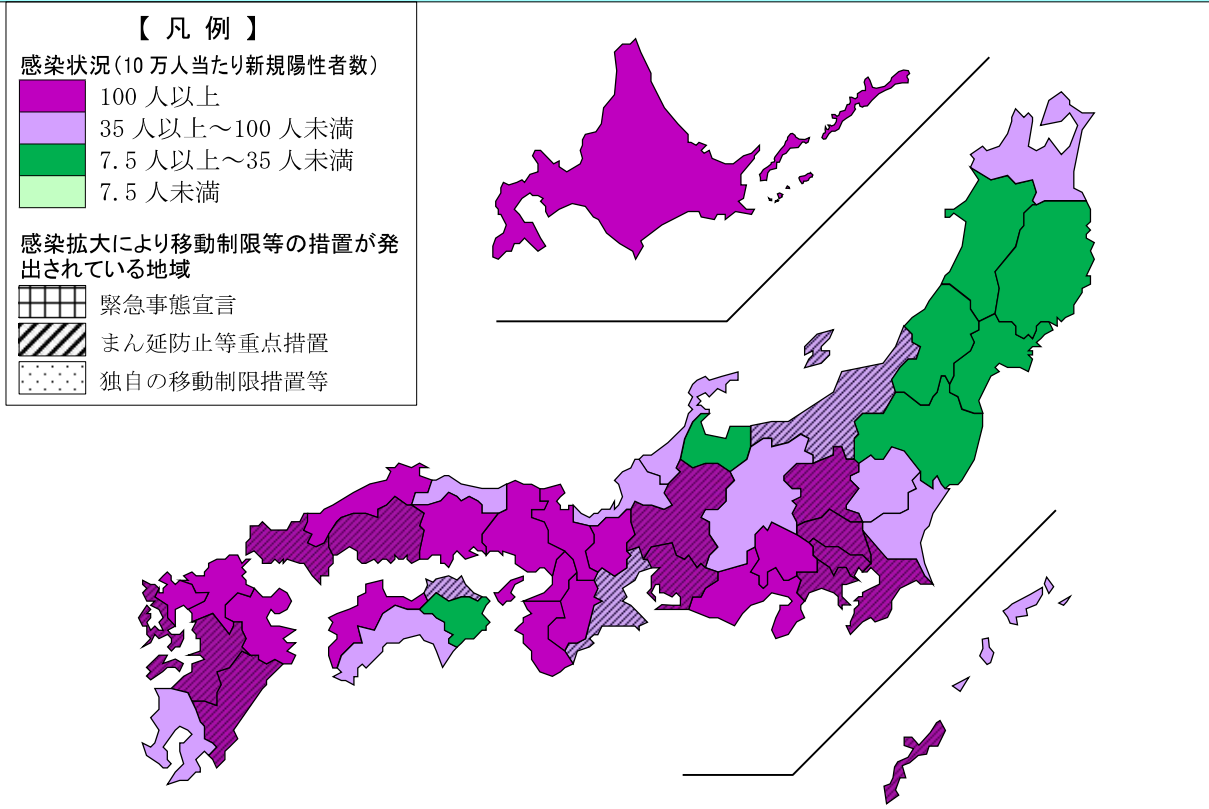
病床利用率			
(全県)	24.3%	レベル判定の目安	
東部	29.1%	3	50%以上
中部	11.5%	2	20%以上
西部	32.9%	1	20%未満
10万人当たり新規陽性者数			
121.0人	レベル判定の目安		
	3	7.5人以上	
	1	7.5人未満	

県外への移動を検討されている皆様へ

まん延防止等重点措置が適用された自治体が1都15県に拡大されました。これらの都県では飲食店の営業時間の短縮のほか、外出や他県への移動の自粛等が要請されています。

県外への移動には、大きな感染リスクがあることを踏まえ、訪問自体の必要性を検討してください。やむを得ず訪問する場合は、事前に訪問先の感染状況を確認し、感染が拡大している地域、特にまん延防止等重点措置区域への移動は、その自治体から発出されている要請内容に従い、万全な対策を講じた上で慎重に行動してください。

全国の直近1週間10万人当たり新規陽性者数(1月20日現在)



次回発表予定 令和4年1月28日(金)

※上記発表前でも必要に応じて随時発表する場合があります

県民・事業者の皆様へのお願い

オミクロン株感染拡大への嚴重な警戒

県民の皆様へのお願い

- 人の移動や集会、面談等には感染リスクが伴うことや、自分自身あるいは相手が、既に感染しているかも知れないという意識を、常にお持ちくださるようお願いします。
- 基本的な感染防止対策は、これまでと同様です。会話時は必ず不織布マスクを着用していただき、人と接触する機会を低減することについて、これまで以上に対策をお願いします。
- 大人数での行動は、特に注意が必要です。飲食を伴う会合は、なるべく、家族や日頃行動を共にする少人数に限り、同一グループで同一テーブル4人まで、食事は黙って食べ、会話は必ず不織布マスクを着用、短時間をお願いします。
- 飲食店や宿泊施設を利用する場合は「ふじのくに安全・安心認証」を受けているなど、感染対策が十分とられている店舗を利用してください。
- 受験シーズンが本番を迎えます。特に、若い世代の皆様は、「感染しない、感染させない」ための感染防止行動をお願いします。

事業者の皆様等へのお願い

- 全ての店舗、施設において、県の安全・安心認証制度や業種別ガイドラインなどによる感染防止対策を再度徹底してください。
- 職場での感染防止対策の徹底のほか、更衣室や休憩時間、寮や共同生活の場など、感染リスクが高まる機会に、不織布マスクの着用なしで接触しないよう警戒を強化してください。
- テレワーク、ローテーション勤務の推進や時差出勤、休暇取得の促進など、人との接触機会を減らす取組を推進してください。
- 学校等での感染拡大を防ぐため、健康観察や感染防止対策の徹底をお願いします。クラブ、部活動や寮生活など集団行動は感染リスクが高いため、不織布マスクなしでの掛け声やミーティングは行わないよう、嚴重な警戒をお願いします。
- 催物（イベント）を計画される場合には、感染が急拡大している状況を踏まえ、この時期の開催自体を検証し、開催する場合には、一層の感染防止対策の徹底に努めてください。（参加人員 5,000 人超かつ収容率 50%超のイベントを開催する場合は、県に具体的な感染防止策を記載した「感染防止安全計画」を提出してください。）
- 飲食店及び宿泊事業者の皆様は、「ふじのくに安全・安心認証」の取得に協力してください。

資料提供: 令和4年1月21日(金)

令和4年1月20日15時 時点

静岡県内市町別「直近1週間・人口10万人当たりの新規陽性者数」

単位	人口 (A) 人	12月31日～1月6日		1月7日～1月13日		1月14日～1月20日		単位	累計 陽性者数 人
		陽性者数 計 (B) 人	対人口 10万人 B/(A/100) 人	陽性者数 計 (B) 人	対人口 10万人 B/(A/100) 人	陽性者数 計 (B) 人	対人口 10万人 B/(A/100) 人		
沼津市	189,677	6	3.2	93	49.0	275	145.0	沼津市	1,823
熱海市	36,351	0	0.0	7	19.3	72	198.1	熱海市	356
三島市	108,435	0	0.0	42	38.7	112	103.3	三島市	970
富士宮市	128,748	3	2.3	23	17.9	89	69.1	富士宮市	809
伊東市	65,704	1	1.5	20	30.4	109	165.9	伊東市	576
富士市	245,089	5	2.0	55	22.4	156	63.7	富士市	2,119
御殿場市	87,345	1	1.1	22	25.2	217	248.4	御殿場市	897
下田市	21,161	0	0.0	2	9.5	5	23.6	下田市	161
裾野市	51,206	4	7.8	20	39.1	49	95.7	裾野市	341
伊豆市	29,427	0	0.0	1	3.4	24	81.6	伊豆市	197
伊豆の国市	46,976	0	0.0	7	14.9	36	76.6	伊豆の国市	387
東伊豆町	11,771	0	0.0	2	17.0	16	135.9	東伊豆町	64
河津町	6,907	0	0.0	0	0.0	2	29.0	河津町	18
南伊豆町	7,970	0	0.0	0	0.0	0	0.0	南伊豆町	35
松崎町	6,246	0	0.0	0	0.0	0	0.0	松崎町	16
西伊豆町	7,384	0	0.0	0	0.0	0	0.0	西伊豆町	44
函南町	36,859	2	5.4	3	8.1	27	73.3	函南町	237
清水町	32,099	6	18.7	49	152.7	25	77.9	清水町	353
長泉町	43,015	2	4.6	20	46.5	66	153.4	長泉町	379
小山町	18,600	0	0.0	2	10.8	40	215.1	小山町	169
東部20市町	1,180,970	30	2.54	368	31.16	1,320	111.77	東部20市町	9,951
静岡市	692,632	11	1.6	139	20.1	763	110.2	静岡市	6,796
島田市	96,099	2	2.1	11	11.4	101	105.1	島田市	686
焼津市	136,752	1	0.7	33	24.1	132	96.5	焼津市	1,450
藤枝市	142,069	0	0.0	19	13.4	128	90.1	藤枝市	1,010
牧之原市	44,275	2	4.5	14	31.6	24	54.2	牧之原市	370
吉田町	28,936	0	0.0	3	10.4	32	110.6	吉田町	217
川根本町	6,438	0	0.0	1	15.5	3	46.6	川根本町	12
中部7市町	1,147,201	16	1.39	220	19.18	1,183	103.12	中部7市町	10,541
浜松市	791,854	17	2.1	310	39.1	1,161	146.6	浜松市	6,821
磐田市	166,310	2	1.2	97	58.3	291	175.0	磐田市	1,663
掛川市	115,133	0	0.0	16	13.9	64	55.6	掛川市	761
袋井市	86,928	3	3.5	35	40.3	143	164.5	袋井市	727
湖西市	58,667	0	0.0	18	30.7	92	156.8	湖西市	645
御前崎市	31,396	0	0.0	4	12.7	37	117.8	御前崎市	260
菊川市	47,355	0	0.0	10	21.1	87	183.7	菊川市	537
森町	17,764	0	0.0	0	0.0	10	56.3	森町	73
西部8市町	1,315,407	22	1.67	490	37.25	1,885	143.30	西部8市町	11,487
その他		9		16		20		その他	503
合計(静岡県)	3,643,578	77	2.11	1,094	30.03	4,408	120.98	合計(静岡県)	32,482

※1 人口は、2019年5月1日現在の市町別推計人口

※2 数値は速報値であり、感染者にかかる詳細調査等により、後日数値が訂正・変更される場合あり

新型コロナウイルスの感染状況や医療のひっ迫状況等を評価する国のレベル分類及び本県の対応

(令和3年12月3日から運用)

国 評価 レベル	指標		求められる対策	国評価レベルに応じた県の主な対応(注1)			
	1週間 新規感染者数	病床 占有率等		外出・移動	飲食店	イベント	事業所
4 避けたい レベル	—	(病床占有率) 100%	・県及び医療現場の判断でさらなる一般医療の制限、保健所の積極的疫学調査の重点化	県内全域に、レベル3よりも強い活動の自粛や制限等を要請			
3 対策を 強化すべき レベル	—	(病床占有率) 3週間後に100% または 現状で50%以上	・県民等へ強い呼びかけ、まん延防止等重点措置や緊急事態措置等、各地域にふさわしい対策	・県内・県外の感染リスクが高い場所への外出、他県への不要不急移動自粛(注2)	・営業時間短縮や休業、酒類提供等の自粛(注2)	・開催規模(参加人数や収容率)の制限(注2)	・出勤者の削減等を強力に推進 ・施設の入場者整理等
2 警戒を 強化すべき レベル	①かつ②～⑤のいずれか (状況) ①2週連続増加 (10万人当たり) ②7.5人以上	(病床占有率) ③3週間後に50%以上 ④20%以上 (入院患者数) ⑤100人以上	・感染リスクの高い行動回避の呼びかけ、感染拡大防止に必要な対策実施、保健所の体制強化、必要病床の段階的確保、レベル3での対策の準備	・県内、県外の感染リスクが高い場所への外出、緊急事態措置区域等への不要不急の移動自粛(注2)	・県内の感染拡大地域で営業時間短縮等(注2)	・感染拡大の兆候等があった場合、主催者に必要な協力を要請	・業種別ガイドラインの遵守 ・人との接触低減の取組実施の徹底
1 維持すべき レベル	—	—	・接種率向上、追加接種 ・医療体制強化 ・総合的感染対策の継続	・基本的な感染防止対策の徹底 ・認証店等の感染防止対策が取られた店舗の利用	・業種別ガイドラインの遵守 ・「ふじのくに安全・安心認証」取得への協力	・5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催は県に「感染防止安全計画」を提出	・業種別ガイドラインの遵守 ・人との接触低減の取組実施
0 感染者0 レベル	—	—	同上	同上	同上	同上	同上

(注1) 実際の対応は、感染状況や医療のひっ迫状況等を踏まえ、必要なものを実施する

(注2) 認証店やワクチン・検査パッケージ適用の場合は要件を緩和(より強い措置が必要な場合は緩和しない)